

C-1 指導案

情報科 学習指導案

石川県立輪島高等学校 教諭

指導日時・教室 平成 20年 5月 7日(水) 1 限目 教室名 13H教室
対象生徒・集団 普通科 1年(次)生 40人(内訳 H 人)
科目名 情報C (単位数 2)
使用教科書 最新情報C (出版社名 実教出版)

1 単元(題材)名 情報の管理と保護

2 単元(題材)の目標

- ・インターネットにおいて多数の違法・有害サイトがあることを知り、関連法令や防衛手段・対処手段の知識を持ち、自分を守ることの必要性を理解する。
【知識・理解】
- ・インターネットの匿名性のメリット・デメリットを考えることができる。
【思考・判断】
- ・学習した内容をワープロソフトを使って、分かりやすくまとめることができる。
【技能・表現】
- ・インターネット利用者としての良識と自主性を持ち、ネチケットを守った行動をする。
【関心・意欲・態度】

3 指導に当たって

(1) 生徒の状況

95%以上の生徒が携帯電話を持ち高度情報化の恩恵を受けているが、電話機能にもまして、携帯インターネットによるプロフなどのサイトの中に子供を陥れる罠があったり、計り知れない危険性があることに気がついていない生徒が多い。当初のシラバスの予定を変更し、情報モラルに関する内容を年度当初のまとめて実施する必要がある。

(2) 指導方針・方法

教科書や学習ノートの題材の他に、生徒が関心を持てるような視聴覚教材を活用し自分の身近なものとしてとらえることが出来るよう工夫する。その後、知識を自分のものとし情報社会を主体的に生きるための判断力を身につけるところまで授業を進める。

(3) 教材選定の理由

パソコンや携帯からのインターネットの便利さを享受しているが、どのような手口で被害が広がるかなど具体的事例で生徒自身が意識しやすいと考えたため。

4 単元(題材)の指導計画(総時数 6 時間)

- 第一次 個人情報管理 (2 時間)
1時 情報モラルに関するDVDを観賞し、感想をまとめる
2時 個人情報と漏洩の実情、その対策や法律などを理解する・・・本時
- 第二次 知的財産権 産業財産権と著作権 (3 時間)
- 第三次 情報社会における責任 (1 時間)

5 本時の指導と評価の計画(第1次 第2時)

(1) 本時のねらい

- ・インターネットに関する法令やフィルタリングについて理解している。【知識・理解】
- ・インターネットの匿名性のメリット・デメリットをまとめることができる。
【思考・判断】

(2) 準備・資料等 平成19年度情報セキュリティ対策DVD『仕掛けられた罠』
(企画 財団法人 警察協会)

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
5	導入 前時の振り返り	・前回の感想や学んだことをワードで作成したレポートを振り返る。	・レポートを配布しながら、それぞれの生徒の気づきを再確認する。	
15	展開1 「情報漏洩と自己管理」	・教科書 p102 を読み、重要と思われるところをマーカーなどでチェックする。	・音読者を指名し、読み手に伝わるような表現力と、他の生徒が積極的に関わろうとしているかに注意する。 ・DVDの内容を振り返り「フィッシング」とは何か発問し、前時との関連付けをする。	
15	展開2 「インターネットの匿名性」	・教科書 p102～p103 を読み、前時のレポートとの関連性を理解する。	・関連法令で何をどのように扱うかを説明した後、インターネットの匿名性のメリット・デメリットを発問し生徒の理解を促す。	関連法令やフィルタリングについて理解している。 【知識・理解】
10	展開3 学習ノートによる振り返り	・学習ノートに取り組みながら、重要な点が自分のものとなり定着するまで理解する。	・机間指導をしながら、それぞれの生徒の理解度や取り組む姿勢を確認する。	メリット・デメリットをまとめることができる。 【思考・判断】
5	まとめ	情報の自己管理に対する意識を忘れず、生活上の自己責任について自覚し、自主的に考え行動することの大切さを理解する。	・「知っていること」と「していること」が同じになるよう、情報モラルやマナーのある生活ができるよう意識を持たせる。	